

しべちや 議会 だより



健康まつりのようす

第91号

平成25年11月1日発行

発行/標茶町議会
編集/広報調査特別委員会
電話/(015) 485-2111
住所/標茶町川上4丁目2番地

9月第3回定例会(9月10日・11日)

平成25年度補正予算可決

一般会計	3億6,267万9千円の追加
介護保険事業	642万6千円の追加
病院事業	36万円の追加
上水道事業	240万円の追加

一般質問 **町政を問う** 3名4件の質問

意見書 北海道の住宅リフォーム助成制度創設を求める意見書など2件可決

第三回定例会

平成二十五年度補正予算

プレミアム商品券へ補助

平成25年度補正予算が、一般会計、介護事業、上水道事業は全会一致で可決、病院事業は賛成多数で可決しました。

主な内容

・風しんワクチン接種	48万円
・農業用水道配水管布設替工事	3,960万円
・商工団体補助金（プレミアム商品券）	450万円
・町道補修工事	8,000万円
・磯分内小学校校舎改築調査設計	2,800万円

条例の一部改正

四件の条例改正があり、主なものは次のとおりです。

● 標茶町火葬場条例の一部を改正

しべちや斎場の管理運営について、平成二十六年から指定管理者制度の導入を図るため、火葬場条例を改正しました。

《指定管理者制度》

「公の施設」の管理運営を行う民間事業者等を「指定管理者」として指定することにより、民間のノウハウを活用しつつ、サービスの向上と経費の節減等を図ることを目的とした制度です。

● 標茶町手数料徴収条例の一部を改正

予防接種法の一部改正により、新たな感染症の追加と疾病の区分の変更、また、結核予防のためのBCGワ

クチン接種が予防接種法に定義されたことから、手数料徴収条例を改正しました。

条例以外

● 専決処分の承認について

自動車事故の損害賠償について（二件）

● 車両の取得について

スクールバス（中茶安別線）として使用する小型バス（二十九人乗り）を購入しました。
取得価格 832万3,233円

● 車両の取得について

除雪ロータリー車を更新しました。
取得価格 3,622万5,000円

● 工事請負契約の締結について

標茶町磯分内酪農センター耐震改修建築主体工事

契約金額
6,279万円
契約者
星・赤坂経常建設共同
企業体

● 監査委員の選任について

田中俊彦氏（再任）を同意しました。

● 固定資産評価審査委員の選任について

佐々木光彦氏（新）を同意しました。

● 教育委員の任命について

山澤和宏氏（再任）を同意しました。



深見 迪 議員

介護保険サービス低下許さない努力を

町長 介護サービス低下を招かないよう検討していきたい

問

厚労省は、次々と社会保険の面での住民サービスの低下を行う発表をしている。

医療、介護、生活保障など、この社会保障改定についての町長の所見を伺う。

重要な点は、介護保障事業で要支援一及び要支援二の人たちを介護保険から外す計画である。

この要支援介護利用者の切り捨ては深刻であると言わざるを得ない。この点についての町長の所見を伺う。

これが実施されるとなると利用者の自立を妨げ介護度の重症化を一層推し進めることになるかと考える。また、町ではどのように対応するつもりか。

介護サービスの中で、訪問介護事業は民間に頼るところが大きいです。要支援者の介護サービスからの切り捨ては、これら標茶町の介護サービスを支えている民間の事業所経営を著しく圧迫すると思わ

一般質問

町政を問う

第三回定例会では、三名の議員が四件の一般質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

れるが町長はどのように考えるか。
標茶町議会では、これまでも介護制度の改善について、意見書を国をはじめとする関係機関に提出してきた。町としても何らかのアクションを行うべきと考えるがいかがか。

答

他国に類を見ないスピードで少子高齢化が進んでおり今後増大する社会保障を維持するために、大きな改革が必要であると理解をしている。介護や医療など資源が脆弱な小規模自治体でも住民が安心して老後を過ごすことができるのか懸念をしている。

国の動向に注視しつつ町の財政負担を含め町内民間事業者の理解を得、介護サービス低下を招かないよう検討していきたい。



長尾式宮 議員

大災害時における地域連携の確立を

町長 本町の担うべき任務を検討する

問

さる九月一日、防災の日に標茶町でも農業者トレーニングセンターにおいて、総合防災訓練が行われた。多くの町民がこの日の訓練を基に災害時に備えていることと思う。

標茶町においては八件の防災協定が締結され、災害時の復旧に迅速に対処できるような対応しているところである。そのなかで、昨年九月には大規模災害を想定し釧路管内八市町村間で防災協定が締結された。昨年の新聞報道では平常時の共同訓練や災害時の人的応援・資機材・生活物資・避難場所の提供など、ソフト・ハード両面で災害対

策を進めるために連携会議を発足予定と報道された。釧路管内は八市町村中五市町が太平洋沿岸の自治体で、先に報道された最大三十一メートルの津波が来た場合、甚大な被害が予想される。場合によっては備蓄施設の分散・集約なども大きな課題となるのではと考える。

八市町村間の防災協定において具体的によどのような協議が進められているのか伺う。

答

八市町村間の防災協定は、昨年九月二十四日、釧路総合振興局長を立会人として協定を結んだものである。

釧路管内地震・津波防災対策連携会議が三回開催され、北海道防災計画に基づく地域防災備蓄整備方針・広域支援体制について検討している。

本町の基本的な考えとして、住民が安心で安全な暮らしを確保できるように、町独自の避難所備蓄整備等を年次的に図っていく。今後、連携会議において本町が担うべき任務を検討していきたい。



総合防災訓練の様子

松下哲也
議員

地域コミュニティと公民館活動の活性化を

教育長 地域活動の支援に務める

問

現在六ヶ所に公民館が設置され、中央公民館、磯分内公民館には分館も設置されている。中央公民館の対象区域は、他の公民館対象区域以外の区域と定められている。そのなかで特に周辺の区域は学校が設置され住民のよりどころとして地域コミュニティの形成に大きな役割を果たしている。

その学校も弥栄小、磯分内中が閉校し、来春には中御卒小が閉校され、二十六年度末には久著呂中央小中が閉校の予定となっている。コミュニティの形成、生涯学習、社会教育の観点から、今後公民館の果たす役割は非常に重要になると考えられる。公平な住民サービスの提供という観点から次の点について伺う。

一、中央公民館周辺エリアに対する地域コミュニティの形成と公民館活動に対する考え。

二、中央公民館として事業要望の取りまとめ、又はアンケートを取る考えはないか。

三、運営委員会は五名以内となっているが増枠が必要と考えるがいかがか。

答

公民館の果たす役割はコミュニティ形成の一要因として多様な学習機会の提供や地域活動の支援に努めるものと考えられる。

本町には六ヶ所に公民館を設置しており、それぞれに三名から五名の公民館運営委員会を置き、事業の企画立案及び反省評価、さらには事業の企画・周知宣伝などを担ってもらっているが、事業要望の取りまとめやアンケートについては運営委員と協議して検討していきたい。

中央公民館エリアとして正職員が二名おり、非常勤と併せると対応できる状態と考える。



中央公民館講座

その他の一般質問

深見 迪議員

問 町は裁判を避けることはできなかったのか

今回、町が被告となった裁判では何度も原告側などから訴訟に入る前に、「裁判については自分たちにとっても町にとっても不幸なことだから、話し合いで解決したい」という申し出があったにもかかわらず、それを何ゆえに町は拒んだのか。話し合いで解決するべきではなかったのか。

町は町民に対し説明の責任があると考えますが、どのような手段で説明するつもりか。

今後、町としても十分必要な調査をして解決に臨むべきと考えられるがいかがか。

答

「今後、慎重かつ丁寧な対応を心掛けていきたい。」

今後に対する影響並びに原告に対する配慮も含め限定した答弁となるが、訴訟に至ったことは双方の主張する事実の相違により議論が平行線で深まらなかつた。

町民への説明は議会場において行政報告することが適切と判断をし、九月定例会で行政報告をした。今後は、誤解や混乱が起きないよう、さらに慎重かつ丁寧な対応を心掛けていきたい。



総括質疑

黒沼 俊幸 議員

問 町立病院の臨時職員
の採用や損害賠償請
求訴訟に関して、病院長は
関わっていたのか。

答 病院長は町立病院の
責任者であり、随時
採用予定者、退職予定者に
ついては報告している。

後藤 勲 議員

問 交通事故死「〇」の
立て看板を町民への
啓蒙を図る意味からも国道
沿いに移設すべきではない
か。

答 看板設置を含め、交
通安全推進協と一体

となって取り組んでいきま
い。



問 町内公共施設の案内
標識がなく、関係機
関と協議をし、設置すべ
きではないか。

答 道路管理者と安全性
も含めて検討した
い。

館田 賢治 議員

問 「損害賠償請求訴訟」
に伴う検証も総括さ
れず、弁護士料の補正予算
出は時期尚早ではないか。

答 一審判決の中で違法
性がない適正な事務
執行であったということ
で、それに伴う経費とし
て計上した。

問 町の経営環境再生資
金（お助け資金）の
貸付の検討をすべきと考
えるが。

答 当初五年と時限付き
でスタートし、所期
の目的を達成した事で終了
した。今後については年二
回の金融会議の場で情報交
換していく。

問 磯分内瀬文平線の道
路整備が急務と考
える

るが。

答 対象区域の約半分が
過去に広域農道で整
備された経緯があり、道
管業として現在道路検査
中。二十七年から修繕開始
の可能性がある。

意見書

次の二件の意見書が可決
され、関係機関に送付され
ました。

◆意見書第十二号

**JR北海道の重大事
故・トラブルの徹底し
た原因究明と安全運行
を求める意見書**

事故原因の徹底究明と再
発防止策を講じ、運行の安
全確保に万全を期するこ
と、車両・設備の更新に必
要な技術的、財政面の支援
強化を図ることを求めたも
のです。

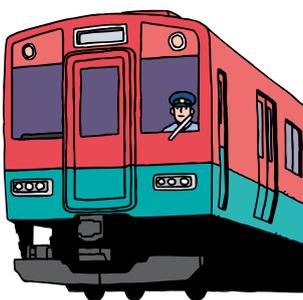
反対討論

議案第五十二号「病院事
業会計補正予算」に対する
反対討論を深見議員が行
いました。

◆意見書第十三号

**北海道の住宅リフォー
ム助成制度創設を求め
る意見書**

地元中小事業者への発注
を要件とした住宅リフォー
ム助成制度を創設し、地域
経済の活性化を図ることを
求めたものです。



議員表彰

釧路町村議会議長会議員

表彰として、本町より四名

の方が表彰されました。

【議員十年以上】

右から

田中 敏文 議員

深見 迪 議員

黒沼 俊幸 議員

菊地 誠道 議員



議会広報研修会

八月二十日に開催された

北海道町村議会議長会議主催

の議会広報研修会へ広報委員

が参加してきました。

長年議員としても活躍さ

れていた、広報コンサルタント

の深沢徹氏による『議

会広報に求められるもの

は』と題して講演がありま

した。

● 本物の議事公開すること

● 政策提案、行政チェック

の姿勢を

● 開かれた議会、議会改革

の姿勢を

● 住民とともに創る広報の

姿勢を

● 誰にでも分かりやすく読

む気になる広報づくり

など様々な視点から議会広

報のあり方を熱心にお話し

いただきました。

また、広報クリニックと

題して、各議会広報を採点

評価するコーナーでは我が

標茶「議会だより」も採点

にチャレンジしました。結

果はお褒

めの言葉

も頂きま

したが評

価として

は課題が

残る結果

となり

ました。

ページに

おける記

事の優先

順位・レ

イアウト

のセオ

リー・記

事の企画

性など、

より良い

紙面づく

りのピン



トをたくさんいただきました。

今回の研修を参考に今後

の「議会だより」の編集に

活かしていきたいと思いま

す。

標茶町議会 先進地視察

(十月八日・九日)

【視察先】

名寄市立食肉センター

【施設の概要】

広域の公設食肉センターとしての役割を担い、消費者への食肉の安定供給と地域の畜産振興を図ることを目的として、昭和四十一年に開設され、運営は当初から二チロ畜産(株)に委託し、平成十八年度からは指定管理者として管理運営を行っている。平成二十四年に食肉センターに隣接して農村漁村活性化プロジェクト支援交付金を利用して加工処理施設を整備し、あわせて平成二十五年に食肉センター本屋を係留、と殺解体、内臓処理のみに改修した。

加工品は牛肉、ミンチの一次加工のみで、すべて国内消費となっている。

と畜処理頭数は、年間約一万頭で道北を中心に全道より集荷している。なお、加工施設では一万頭では採算が合わず他より枝肉を買い入れ一万三千頭を加工している。と畜から加工まで行うことで維持できている状態である。

【視察先】

岩見沢市精肉センター

【施設の概要】

昭和四十二年に市の直営方式により操業してきた

が、施設の老朽化と事業の赤字経営により昭和六十年には廃止の方向であった。しかし施設利用者からの継続の陳情が行われ、その結果施設利用者自らによる民間の「道央食肉センター」が設立された。当時、と場枠については公営でなければ許可が出なかったことから、市は「道央食肉センター(株)」と施設の維持管理、運営については委託契約が締結され、平成十八年度からは管



理者制度を導入し、現在に至っている。精肉センターは、と畜業務であり製品はすべて枝肉となり、この枝肉は納入した生産者に返却することになるが大方は隣接する「道央食肉センター(株)」の親会社である「スターセントプロセッサ(株)」へ納入され、同社が枝肉を加工して消費者に向けた流通を行っている。

平成二十四年度のと畜処理頭数はすべて豚で約十万七千頭となっており、岩見沢市のほか道内二十六市町村から搬入され、釧路管内からは約一千頭が搬入されている。今後は指定管理者をやめ、完全民営化する予定である。

間、「道央食肉センター」が設立された。当時、と場枠については公営でなければ許可が出なかったことから、市は「道央食肉センター(株)」と施設の維持管理、運営については委託契約が締結され、平成十八年度からは管



第三回定例会 議会日誌から

- 七月二日 広報調査特別委員会
- 七月五日 釧路北部消防事務組合議会第二回臨時会
- 七月十日 広報調査特別委員会
- 七月十二日 広報調査特別委員会
- 八月十二日 総務経済委員会所管事務調査議会広報研修会
- 八月二十日 厚生文教委員会所管事務調査
- 八月二十八日 釧路北部消防事務組合議会第二回定例会
- 八月二十九日 川上郡衛生処理組合議会第二回定例会
- //
- 九月六日 議会運営委員会
- 九月十日～十一日 第三回定例会



地域の話

磯分内酪農センターの耐震化工事のため、早めに開催された磯分内地区文化祭の様子。(9月14日・15日)



編集後記

平成二十五年度も、半年が過ぎようとするなか第三回定例会が開催され、多くの議案が審議されました。

北海道の交通の動脈であるJR北海道の重大事故・トラブルは、ある意味では北海道ブランドを傷つけてしまう危険性もあると考えます。徹底した原因究明と安全運行を求め、再発防止に努力していただきたいと思います。

秋も深まるにつれ日没も早くなり、エゾシカの道路への出没も多くなりますので、交通事故には十分注意してください。

「議会だより」は、見やすく解りやすくをモットーに編集しております。

お気付の点がありましたら、ご意見をお寄せください。

(文責 熊谷善行)

標茶町議会アドレス <http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/yakuba/gikai/>